



第73回大会 TEAM FUKUOKA NEWS

福岡県選手団サポートニュース H30.2.2 Vol.10

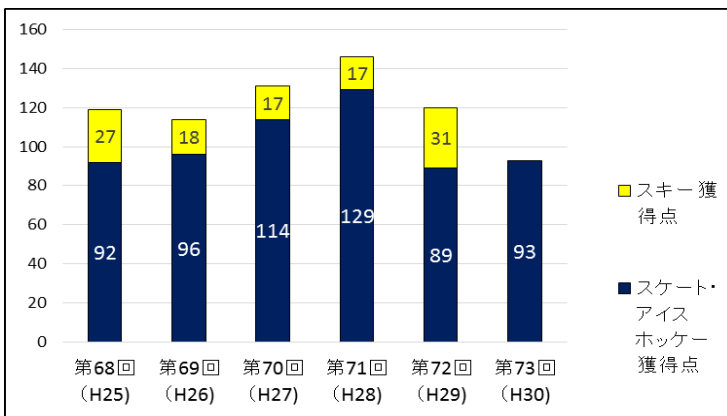
スケート・アイスホッケー競技会終了！ 現在 12 位！

【第73回大会で本県が獲得した競技得点（参加点除く）】

	スピードスケート		ショートトラック		フィギュア		アイスホッケー	計
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	
成年	-	-	0	6	18	15	5	44
少年	0	-	12	0	9	3	5	29
計	0	-	12	6	27	18	10	73

スケート・アイスホッケー競技会を終え、本県は73点の競技得点を獲得。これに参加点20点を加え、**93点**となり、現時点で**総合成績12位**につけている。アイスホッケー成年男子の28年ぶりの8位入賞や、フィギュアスケートの全種別入賞などの明るい材料がみられた。

【冬季競技における本県総合成績の推移】



左のグラフは、第68回大会（H25）からの冬季国体における本県の総合成績を示したものである。

現段階の93点は、昨年を4点上回ったものの、直近の大会と比較すると高い点ではない。ただし、昨年度のスキー競技では31点獲得の実績があり、2/25から始まる「新潟妙高はね馬国体」に大きな期待がかかる。

スケート・アイスホッケー競技会からスキー競技会へ、そして、福井国体へと『チーム福岡』の思いがつながる。

【ライバル県の現在の総合成績状況】

	順位	獲得点
北海道	1位	277点
神奈川県	5位	121点
福岡県	12位	93点
茨城県	20位	38点
千葉県	23位	35点

左の表は、本県が「総合成績8位以内入賞」をねらう上で、近年競い合っている1道3県の現在の状況である。

現時点の獲得点を昨年と比較すると、北海道と本県は増減が少ないが、神奈川県は20点減、茨城県11点減、千葉県は11点増となっている。

昨年の本国体（愛媛県開催）での獲得点を見ると、神奈川県と千葉県が、本県を200点以上上回っており、第73回大会において本県が「総合成績8位以内入賞」を目指す上で、大きな脅威となるであろう。

また、第72回大会において福井県が大躍進を遂げたように、近年、次年度開催県が上位に食い込む傾向にあることから、第74回大会開催県である茨城県の今後の上昇も十分に考えられる。